

2019.08.24

みちのくホール

津軽地域医療フォーラム 2019

テーマ I 新中核病院

新中核病院の概要

国立病院機構 弘前病院

特別統括病院長 藤 哲

津軽地域保健医療圏における新中核病院の整備
及び運営に係る基本協定締結式

平成30年10月04日 @ 弘前市



福田附属病院長 三村県知事 楠岡国立病院機構理事長
櫻田市長 佐藤学長

新中核病院は

内容

- 病院の特徴:どんな病院になるの？
- どこに整備するの？
- いつ開設するの？
- 現在はどこまで進んでいるの？
- 問題点は？

新中核病院:目的・時期・整備地

- 津軽地域保険医療圏の住民に、長期間にわたり安心・安全で良質な医療を提供
- 当院(342床)と弘前市立病院(250床)の統合により、2022年早期の運営開始を目指し、当院敷地内に整備

新中核病院: 診療機能

450床程度・24診療科

救急医療・地域医療

がん・周産期医療・小児医療などの政策医療

災害拠点病院の機能など

両病院が担ってきた機能の集約・強化を図る

津軽地域保健医療圏住民への

二次医療体制の中心的な役割を果たす





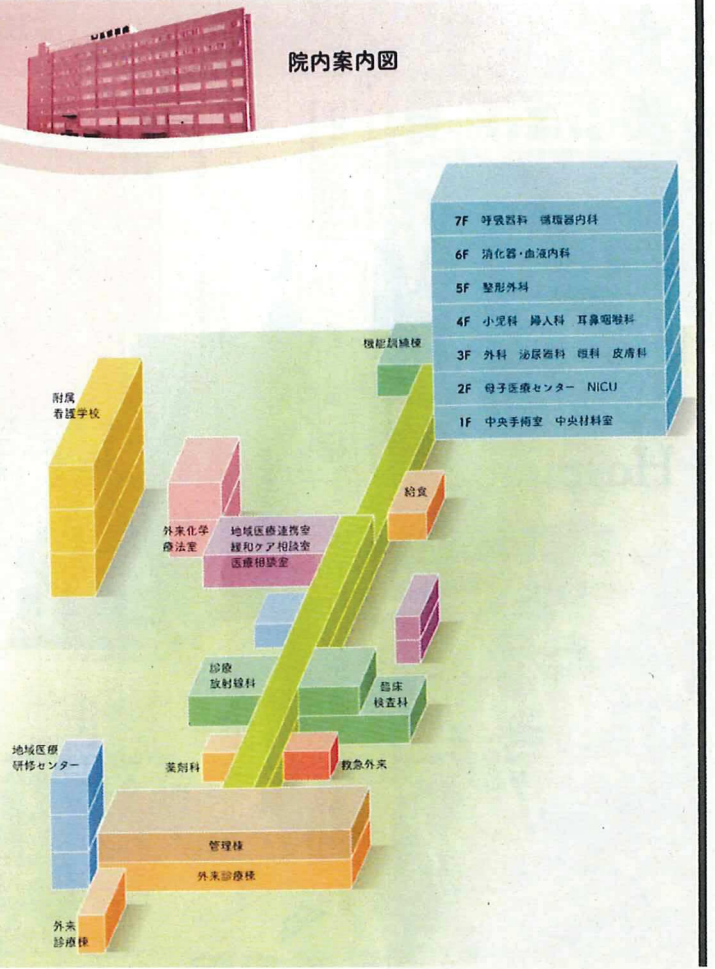
National Hospital
Organization

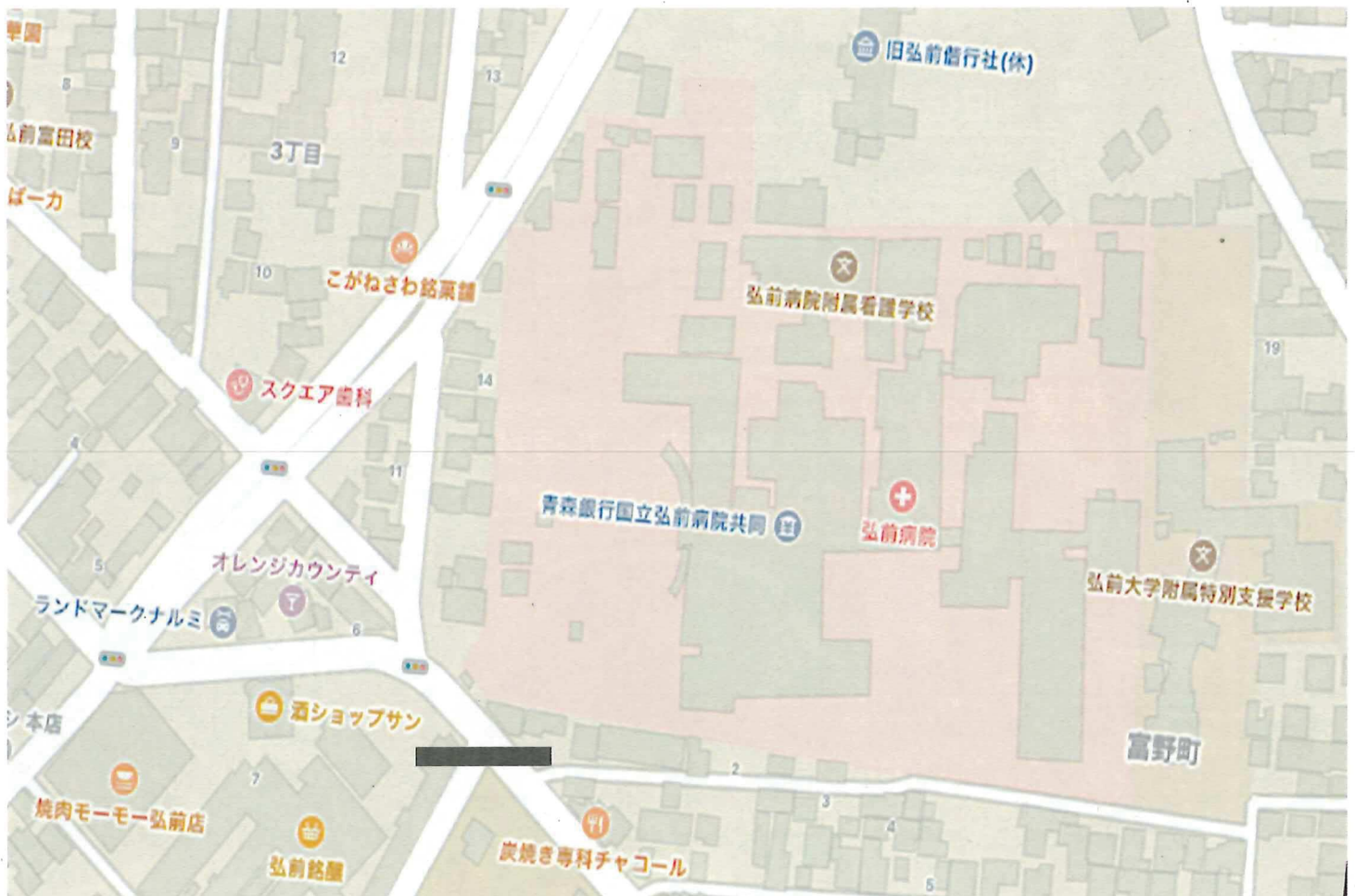
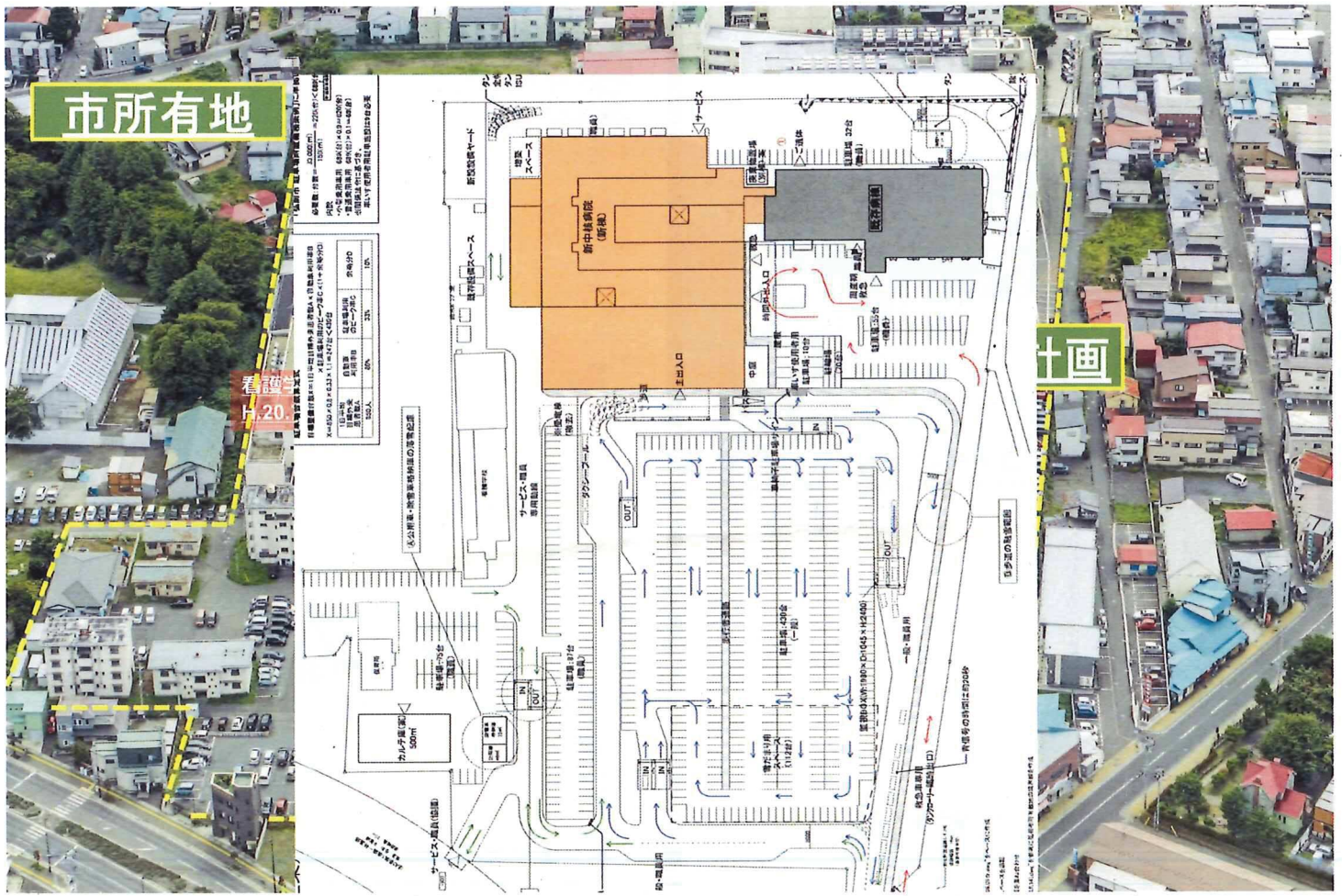
Hirosaki
National
Hospital

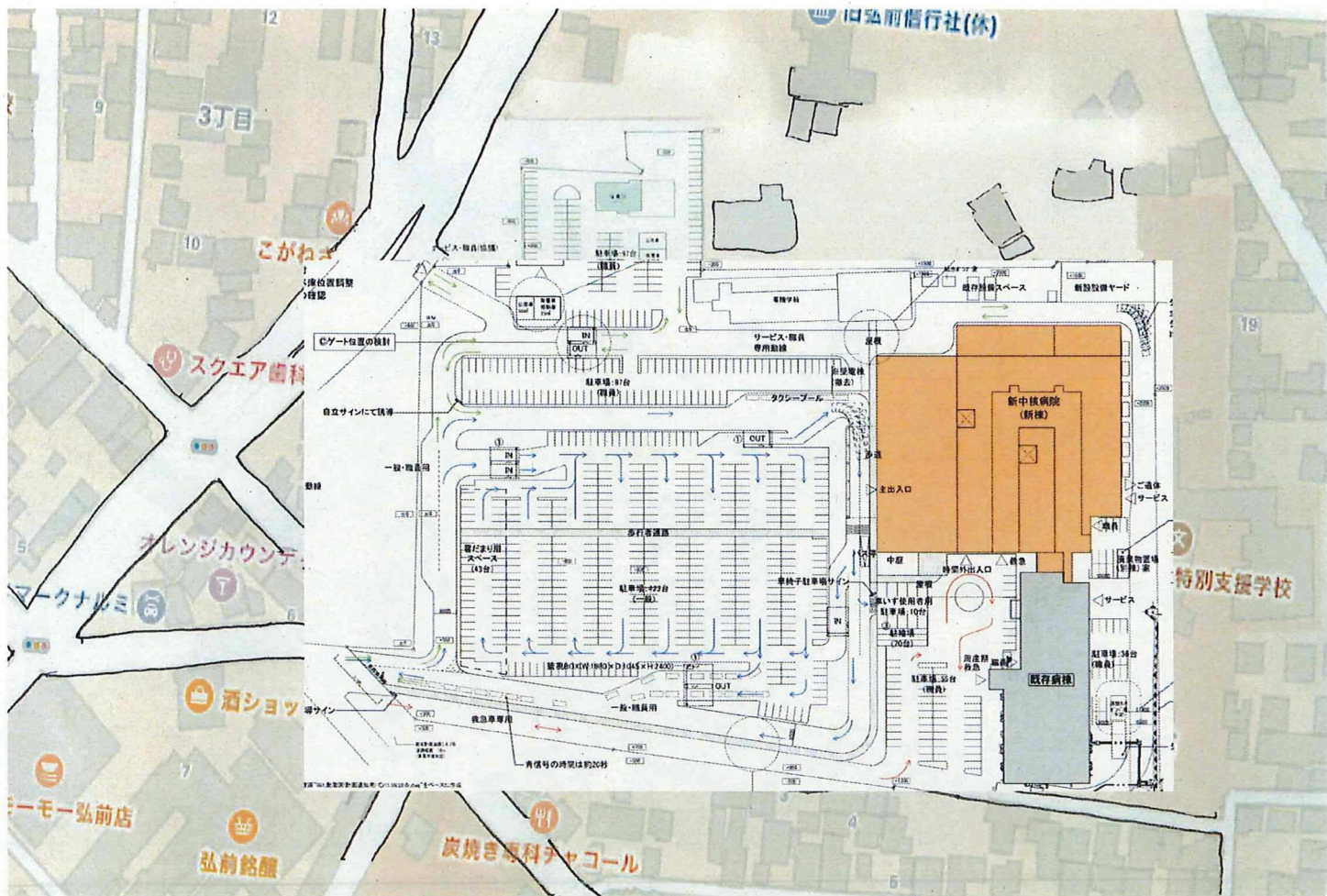


独立行政法人
国立病院機構 弘前病院

院内案内図







診療科（二次医療機関として）

計24+α科

消化器内科・血液内科・呼吸器内科・循環器内科
内分泌代謝科・脳神経内科・消化器外科
乳腺外科・整形外科・小児科・産婦人科
泌尿器科・眼科・耳鼻いんこう科・皮膚科
放射線科・麻酔科・臨床検査科・病理診断科

救急科・精神科・リハビリテーション科

総合診療科・歯科

新たに開設する診療科

新中核病院の新たな機能

- ① 救急科を新設し、専門スタッフの配置により、救急患者への対応を充実させ、検査・放射線部門・手術部へのアクセスを改善
- ② 内視鏡センターの充実。新たな内視鏡システムの導入・統合による経験豊富な人員増
- ③ 外来棟・放射線部門・検査部門は元々手狭でしたが、新築となることで、患者さんの利便性が大幅に改善。
- ④ 手術件数の増加を考慮し、手術室の機能強化を図る。
- ⑤ 機能を集約することにより、小児や多くの合併症を持った高齢者に対して全科的なアプローチが可能になる。

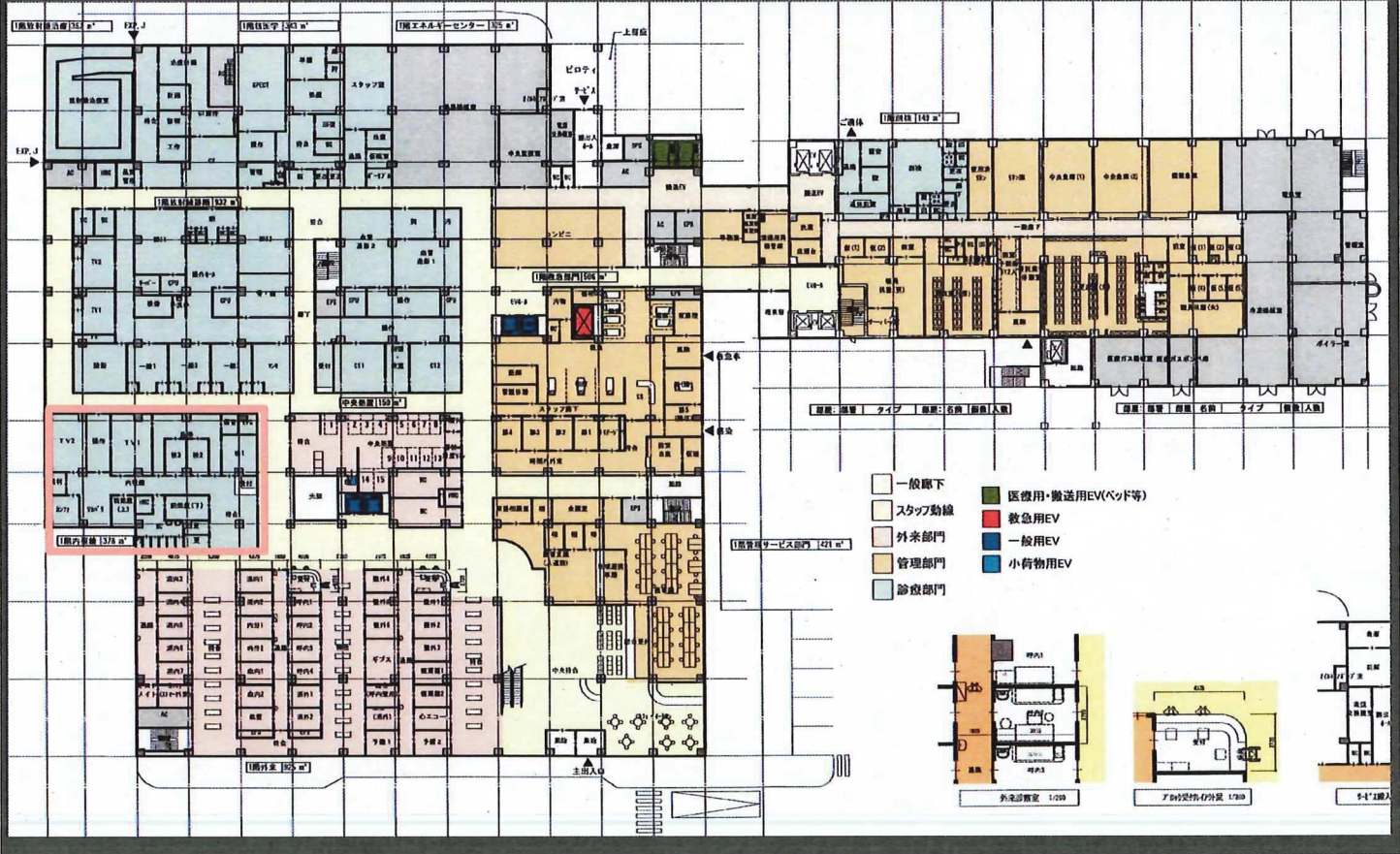
新中核病院の新たな機能 II

- ⑥ 放射線治療の充実：高齢者に対する適応の増大に対応できるように、専門医師の配置を進めます。
- ⑦ リハビリを含めた整形外科のベッドを増床し、超高齢社会における整形外科の役割である、ロコモティブシンドロームの予防・治療に貢献する病院を目指します。
- ⑧ 血液悪性腫瘍の患者を治療する為の無菌室を増設・整備し、より効果的治療を目指します。



内視鏡センターの充実

1階



内視鏡センターの充実

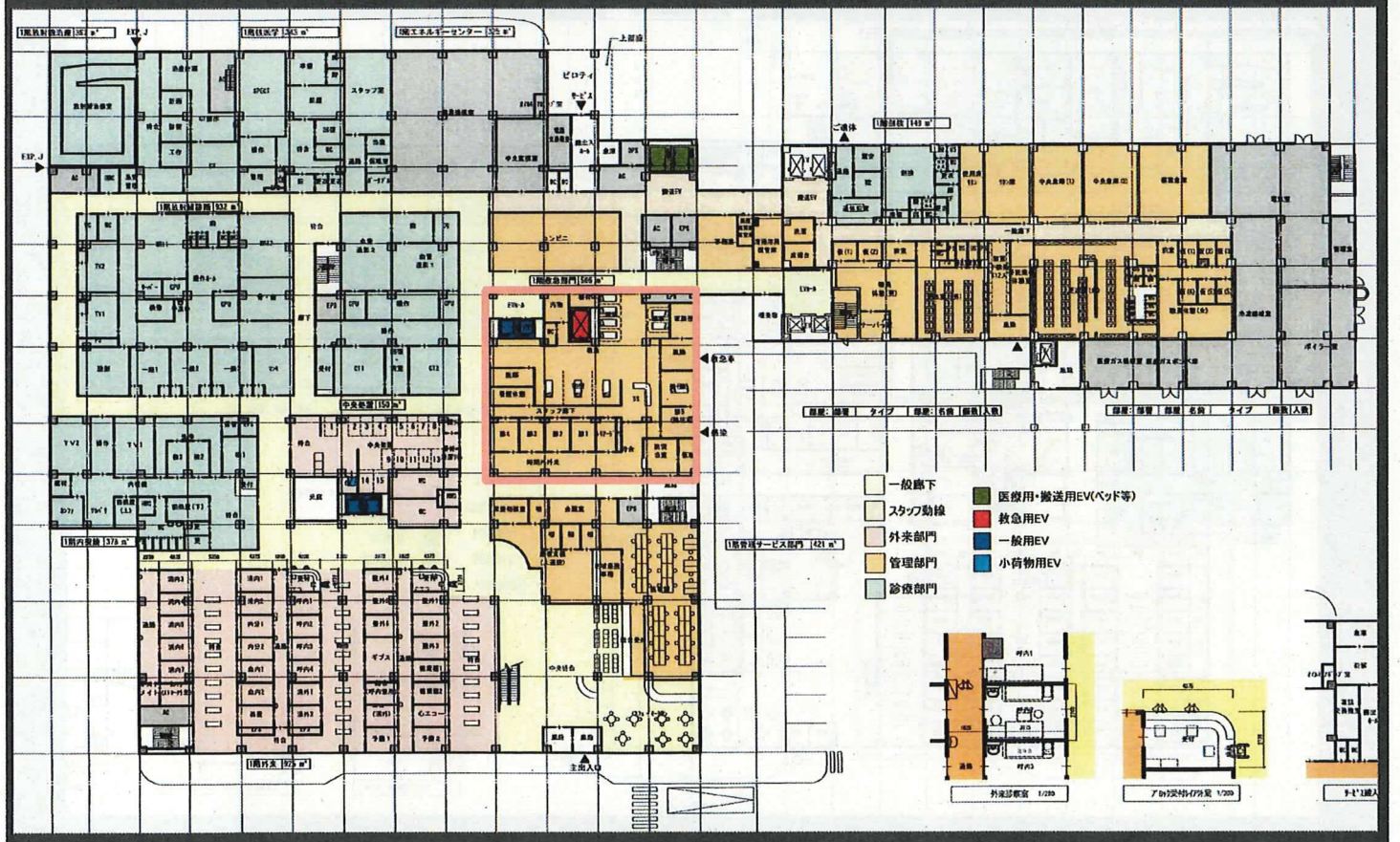
1階





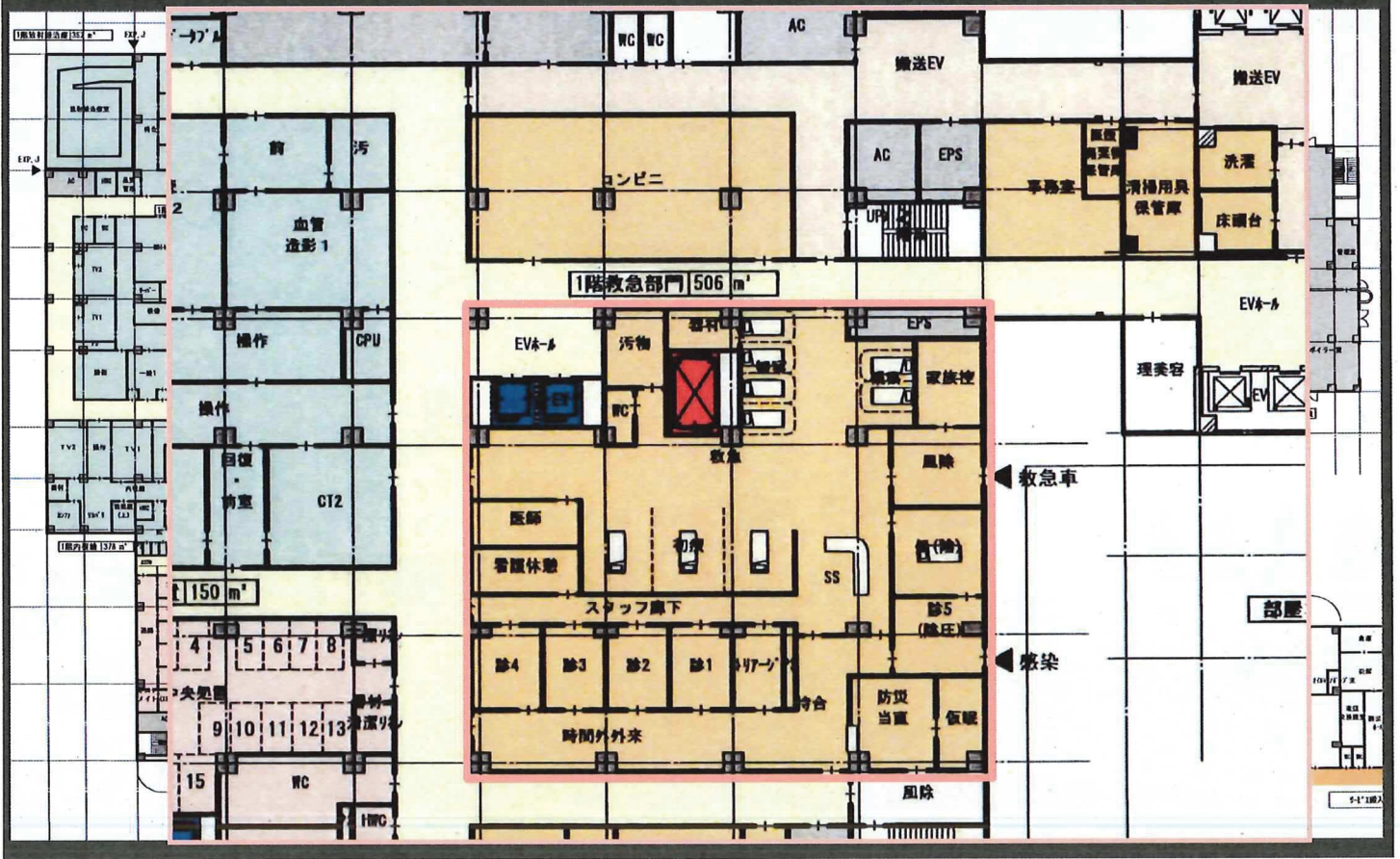
救急センターの整備

1階



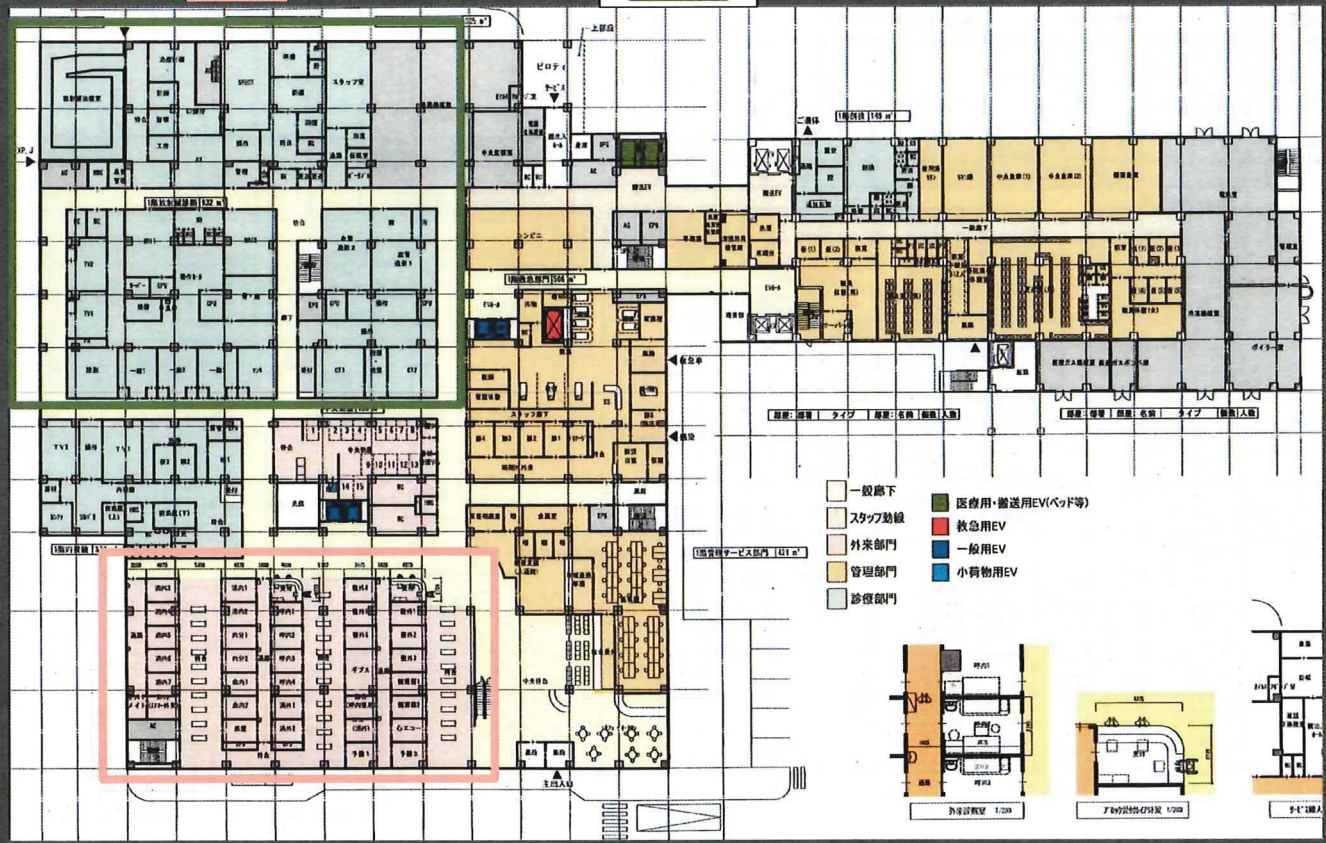
救急センターの整備

1階

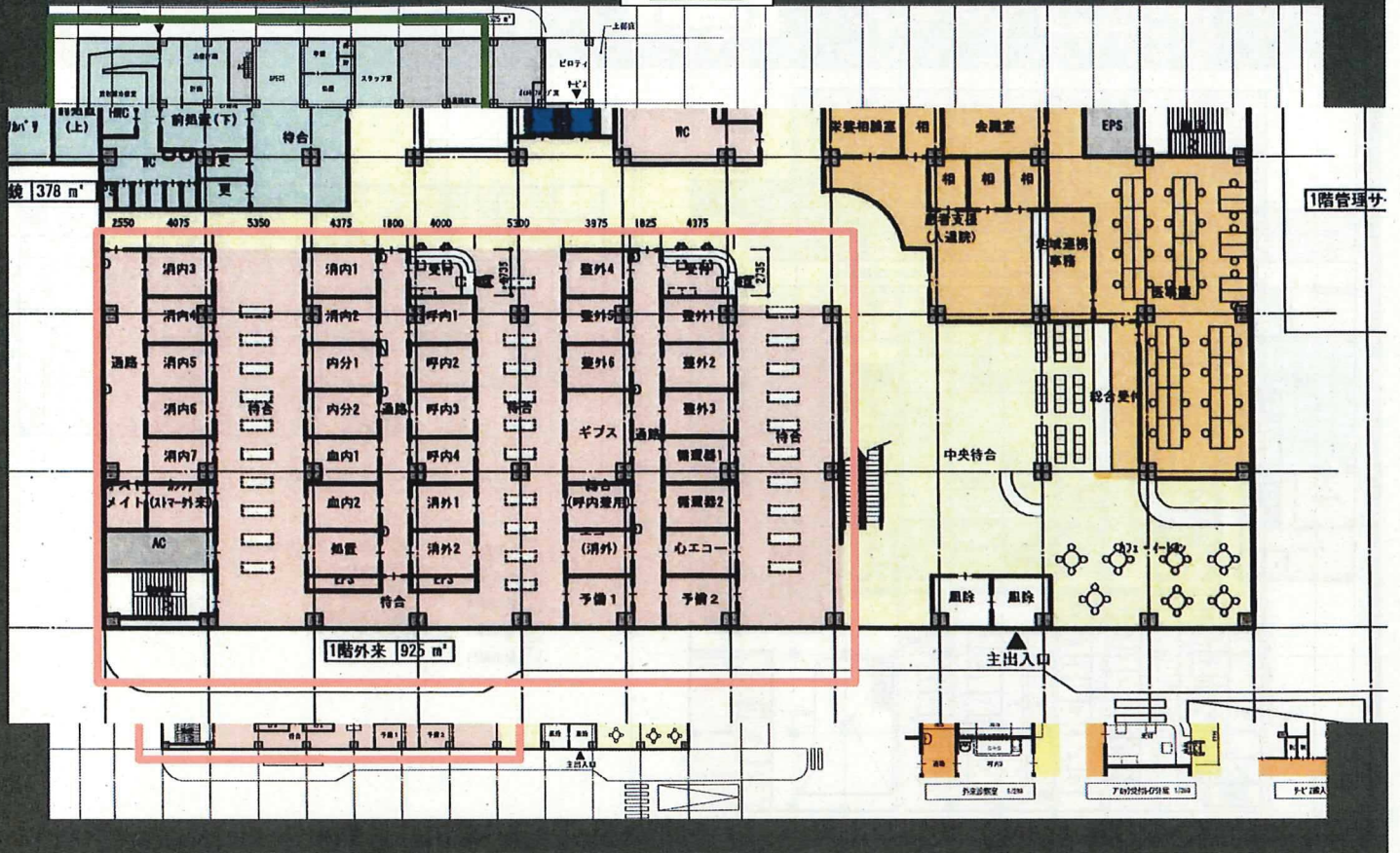


外来棟 放射線部門の新築

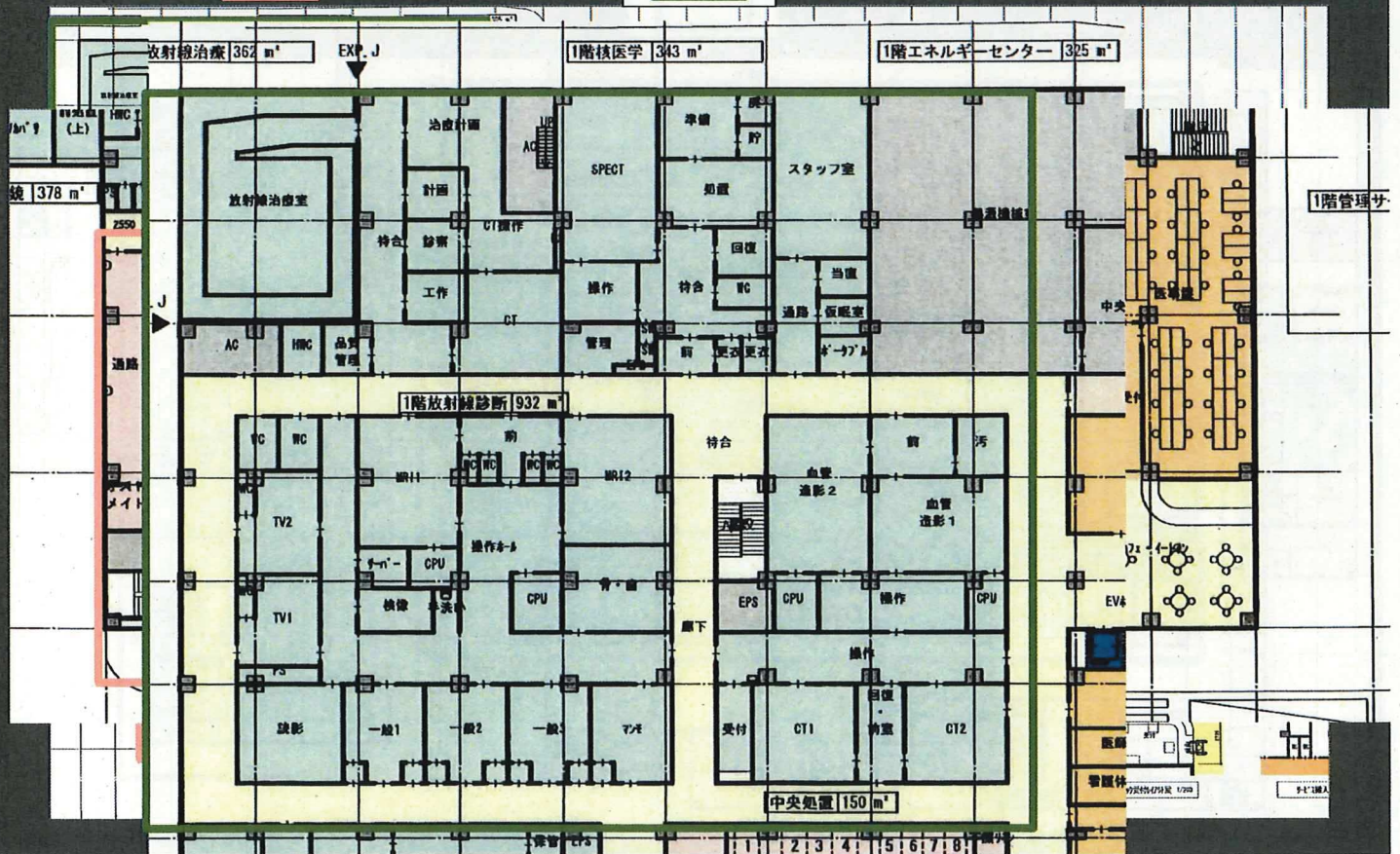
1階



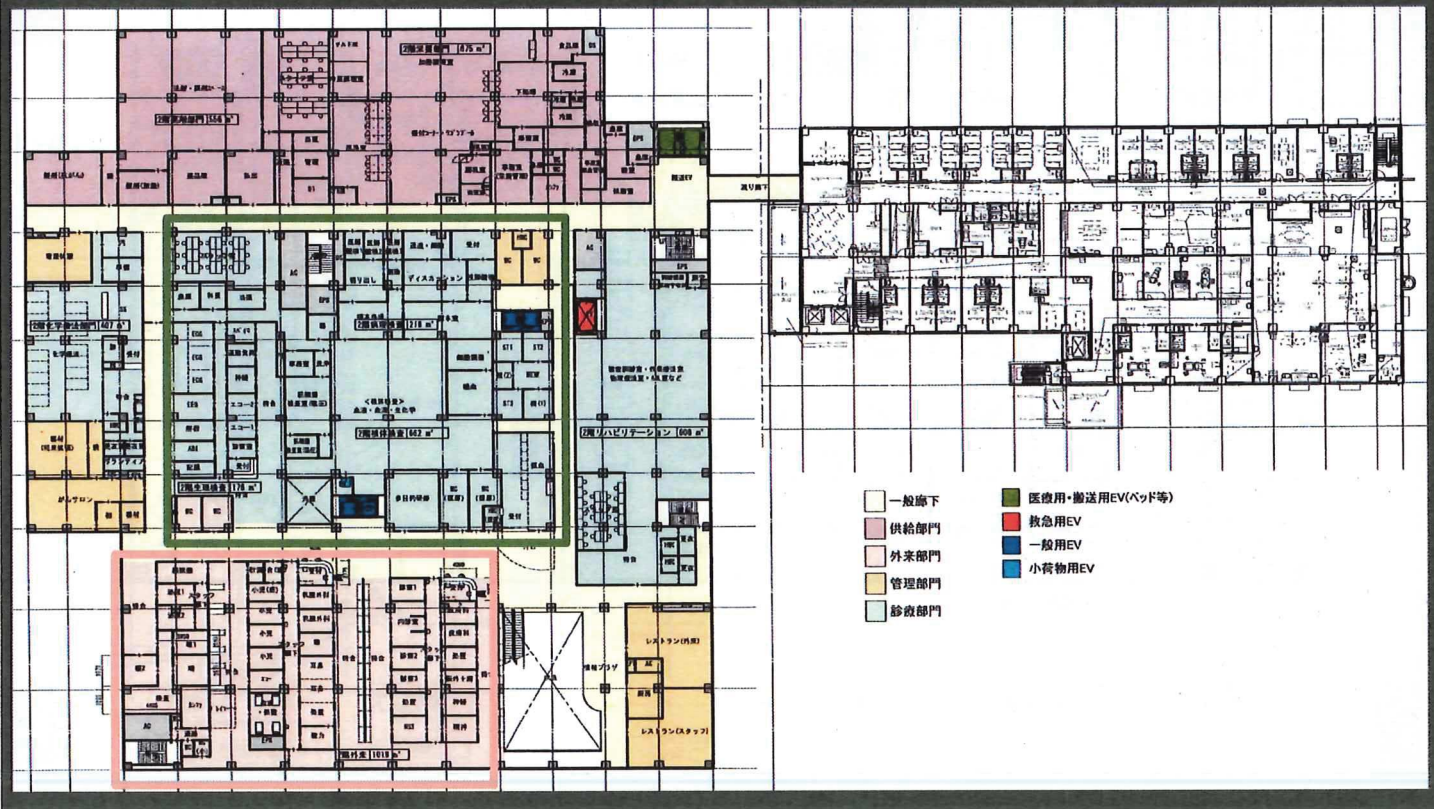
外来棟 ・放射線部門 の新築 1階



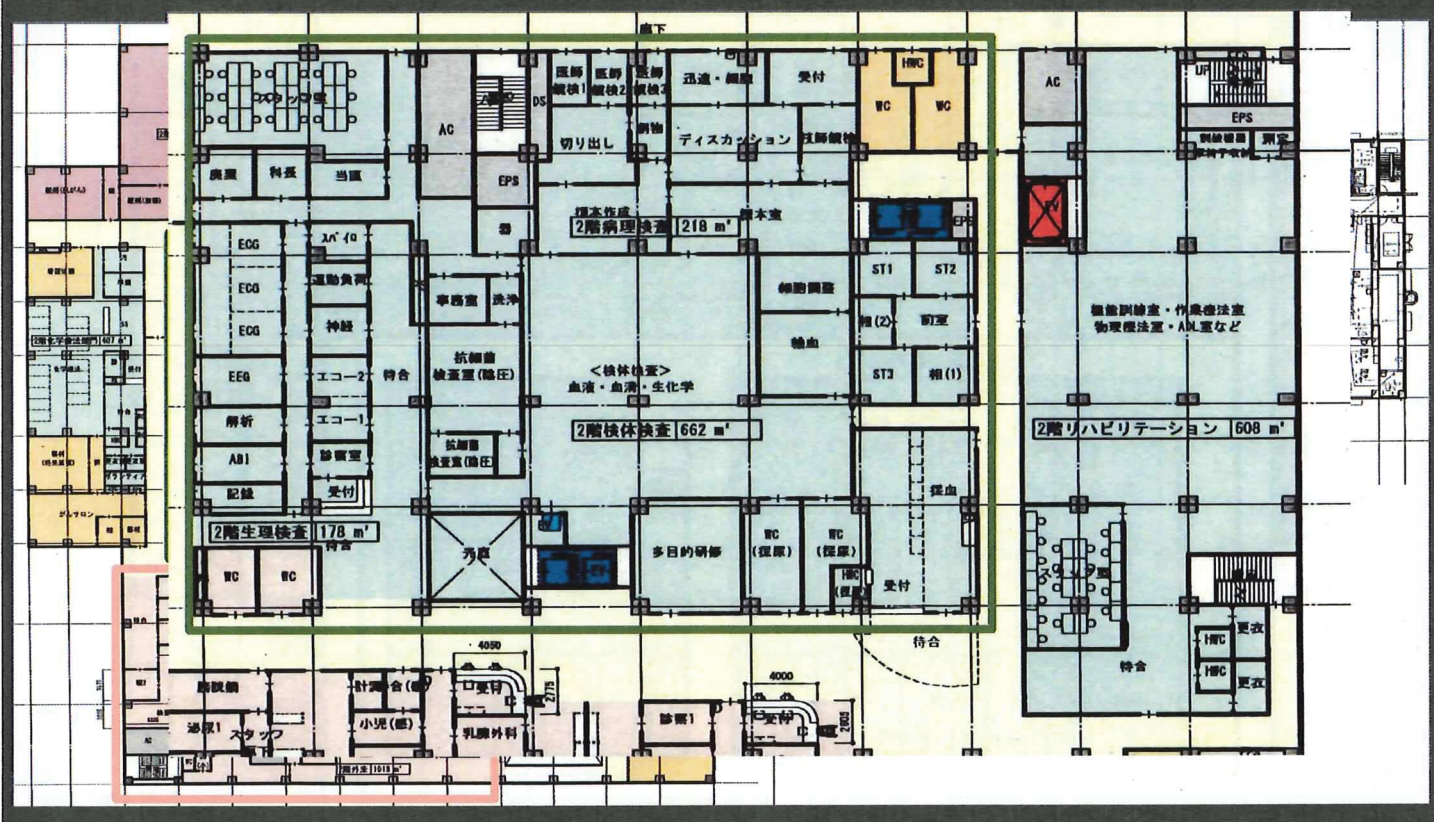
外来棟 ・放射線部門 の新築 1階



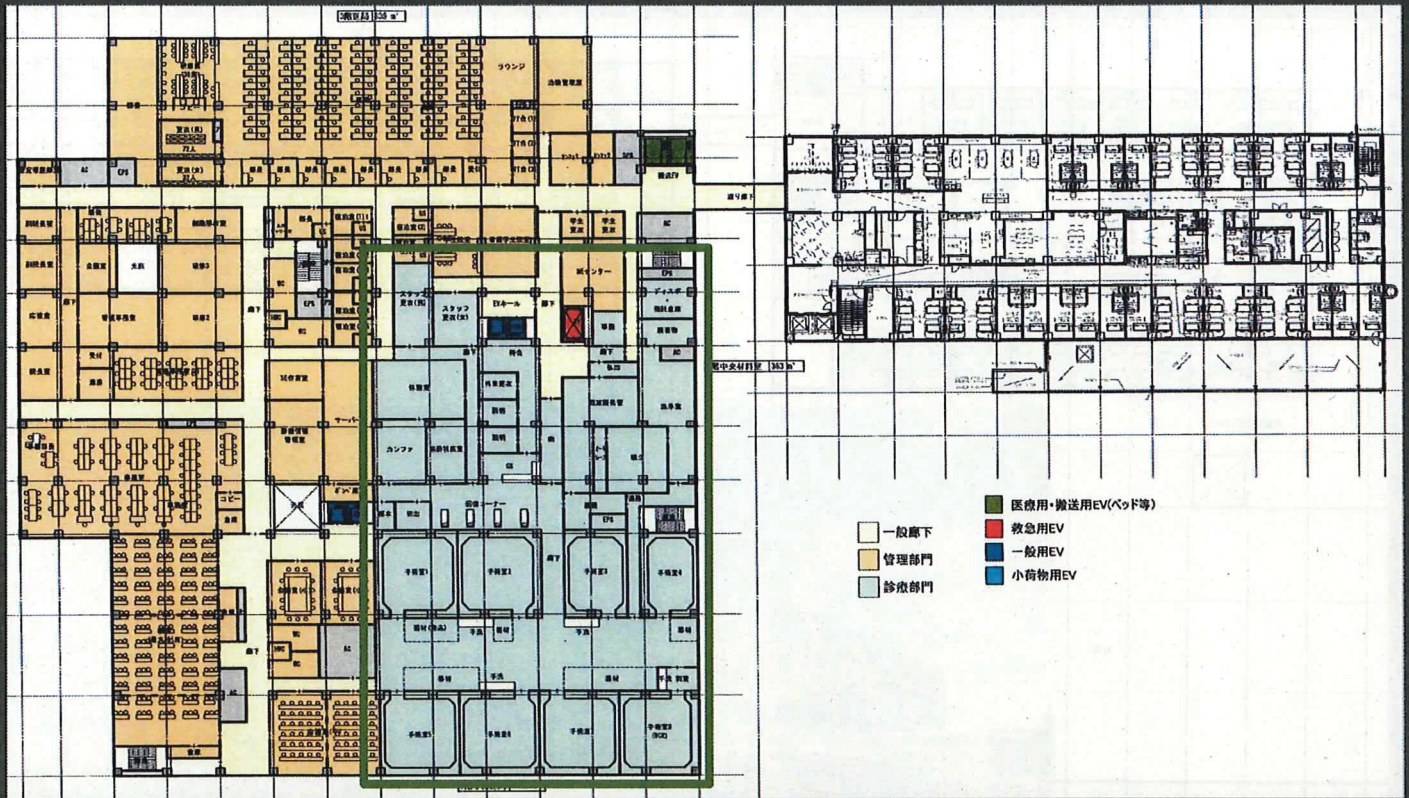
外来棟 ・検査部門 の新築 2階



外来棟 ・検査部門 の新築 2階



手術室 の移設 3階

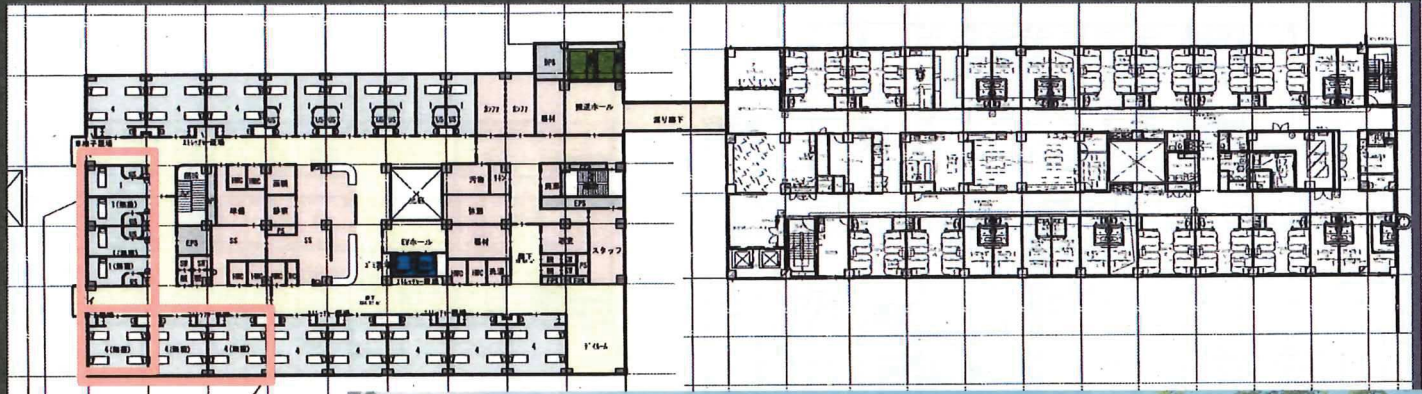


手術室 の移設 3階



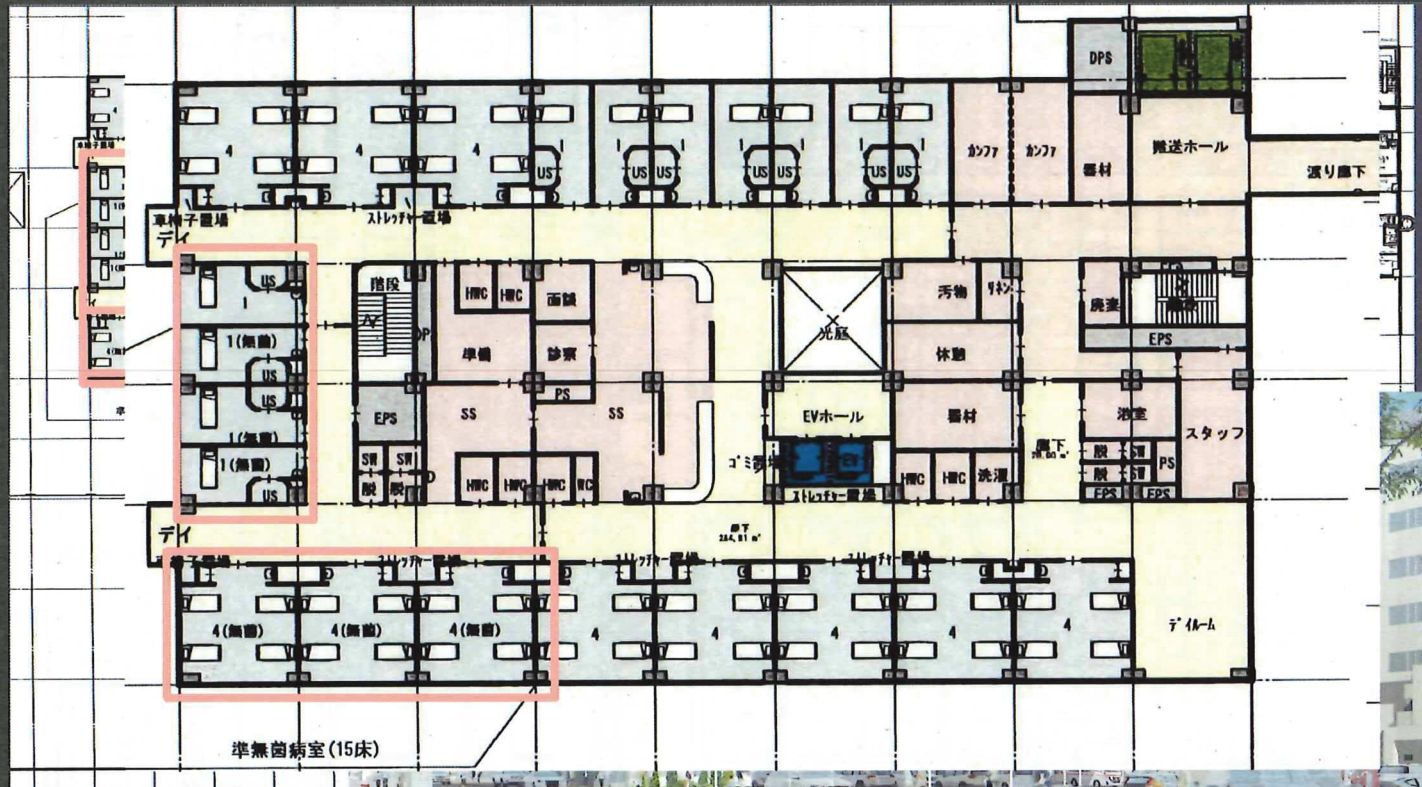
血液内科 無菌室の整備

4階

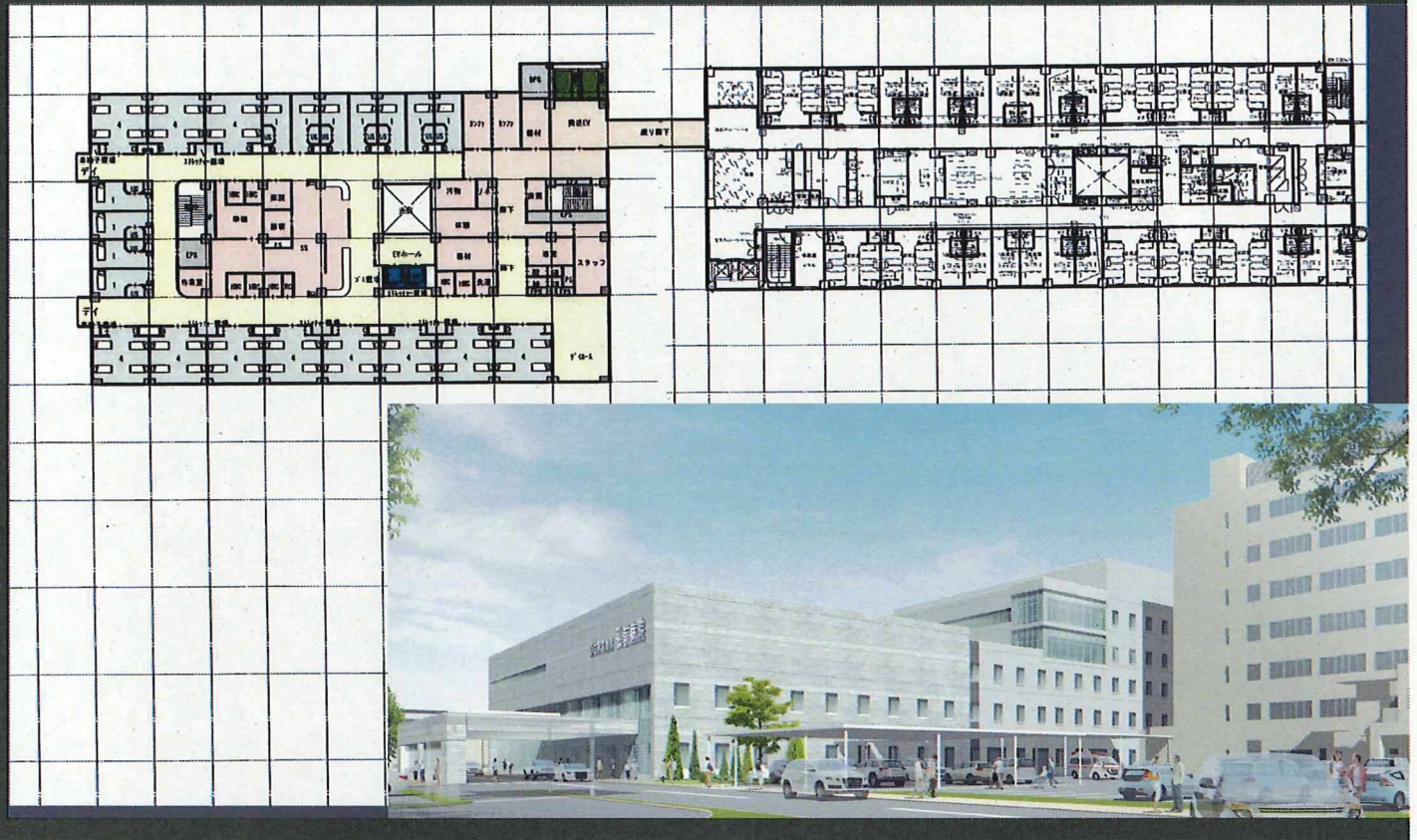


血液内科 無菌室の整備

4階



整形外科・リハビリテーション科入院室増設 5階



今後の整備スケジュール

2019年度 2020年度 2021年度 2022年度
 前期 後期 前期 後期 前期 後期 前期 後期

既存建物一部解体工事
 既存建物一部改修工事

準備工事

仮設建物新築工事
 切り回し工事
 (電気幹線・給湯配管等)

本体工事

新棟建築工事

運営開始

既存建物の
 解体工事
 外構工事

統合のメリット

- ① 病床規模の拡大及び医師の集約化による急性期医療、専門医療（ガン・脳卒中・心疾患など）への対応力の大幅な向上
- ② 救急センターの整備による地域の救急医療体制の確保／充実
- ③ 産科医・小児科医の集約による小児医療・周産期医療の充実、安全安心な出産環境の実現
- ④ 救急医療・急性期医療・専門性に高い医療の強化により、マグネットホスピタルとして、臨床研修医、若手医師の育成拠点になる
- ⑤ 市立病院が担って来た災害拠点病院機能の更なる強化による災害時医療提供体制の充実

